iiyama

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite XB3294UHSCP

重要

ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語

ENERGY STAR

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意下さい。

■ モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
■ 電源コードおよびケーブル類は付属のものを使用すること。

国際エネルギースタープログラム

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品は工場出荷時の設定で国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。
工場出荷時の設定を変更または他の機能を有効にすると消費電力が増加し、国際エネルギースタープログラムの基準を超える可能性があります。

■ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
■ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
■ 本書に記載した会社名，商品名は、各社の商標または登録商標です。
■ 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用のモニタの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

- ●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- ●キャビネットが異常に熱い。
- ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- ●使用中に異常な音や振動などがある。
- ●その他の異常や故障がある。

⇒

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをはずし、必ず販売店またはiiyamaサポートセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはiiyamaサポートセンターにご相談ください。

もくじ

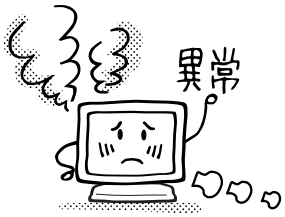
安全にご使用いただくために 1
ご使用の前に 6
特長 6
標準付属品 6
アーム / スタンドの使用 7
スタンドの取り付け / 取り外し 9
各部のなまえ 12
コンピュータとの接続 13
コンピュータとの接続解除 14
コンピュータの設定 15
モニタの高さ / 角度調節 15
操作手順 16
メニュー内容 18
スタンバイ機能 31
故障かなと思ったら 32
クリーニング 33
アフターサービス 34
保証書 / 保証期間について 34
修理サービス 34
リサイクル / 廃棄について 34
付録 35
一般仕様：ProLite XB3294UHSCP-B1J 35
外形寸法図 36
対応信号タイミング 36

本書に記載の注意事項に反するお取扱いによって生じた故障や損害は、保証期間内であってもサポート及び保証の対象外となります。

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

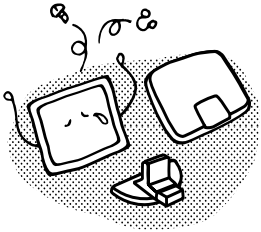
⚠ 警告



プラグを抜く

万一、異常が発生したら

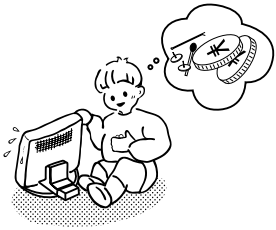
煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店または iiyama サポートセンターにご依頼ください。



禁止

プラグを抜く

異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

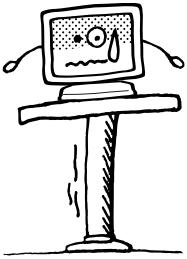
禁止

プラグを抜く

花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。
万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

⚠警告

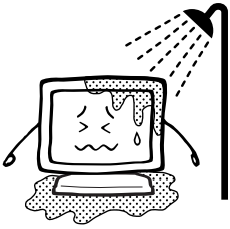


禁止

プラグを抜く

不安定な場所に置かない

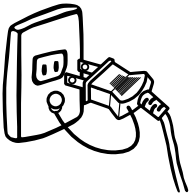
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード (黄 / 黄緑) を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後おこなってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

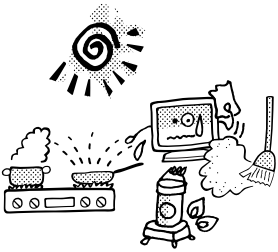
電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。
コードが傷んだらすぐに販売店または iiyama サポートセンターに交換をご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠注意



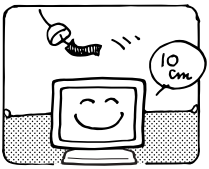
禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く

禁止

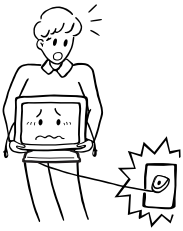


通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

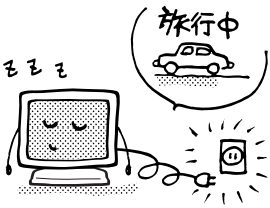
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から 10cm 以上離して置いてください。スタンドを取り外して使用するときも、モニタ背面の通風孔をふさがないように十分なスペースを確保してください。



指示に従う

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

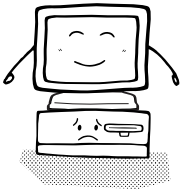
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



指示に従う

旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



指示に従う

コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠注意

指示に従う

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

指示に従う

手や指に注意！

ケガの原因となることがあります。

- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。
- 高さ調節の際、モニタ下部とスタンドの間に手を入れているときに、モニタを勢いよく下げないでください。

指示に従う

24 時間連続使用しないで

本製品は、24 時間連続使用することを前提として設計されておりませんので、24 時間連続して使用しないでください。

指示に従う

天井や壁への取り付けはできません

本製品は、デスクトップでの使用を目的として設計されており、天吊りやウォールマウント (壁掛け) 等によるデジタルサイネージ (電子看板) 用途には対応しておりません。

指示に従う

モニタを下方向へ傾けすぎない

モニタを下方向へ調節範囲を超える角度に傾けて使用しないでください。液晶パネルが剥がれて落下し、損傷するおそれがあります。

指示に従う

モニタにアルコールや消毒薬を使用しない

モニタにアルコールや消毒薬等を直接吹き付けたり、モニタの近くで使用しないでください。また、アルコールや消毒薬等を含んだ布やシート等でモニタを拭かないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約 40 ～ 60cm はなれたくらいが見やすくて疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

■ お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。

■ ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。

■ 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。

■ 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。

■ 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像 (焼き付きのような症状) が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。

・画面の表示パターンを変える。　・数時間電源を切っておく。

■ 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店または iiyama サポートセンターまでお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。
また、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

USB Type-C 搭載 PC との互換性

本製品と弊社 PC との互換性につきましては、下記 URL からご確認ください。
URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/g/giiyama-usbc-gokan/

特長

- ◆ 最大 3840 × 2160 モードをサポート
- ◆ 高性能パネル採用
  高コントラスト 3000:1(標準), アドバンストコントラスト機能搭載 ,
  輝度 400cd/m^2(標準), 高速応答速度 2ms (グレー←→グレー)
- ◆ ブルーライトを低減
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ KVM スイッチ
- ◆ USB Type-C コネクタ装備
- ◆ USB Power Delivery 最大 95W まで対応
- ◆ 5W ＋ 5W 出力のステレオスピーカー内蔵
- ◆ 省電力設計
  国際エネルギースタープログラム , スタンバイ機能搭載
- ◆ VESA マウント規格 (100mm × 100mm) 対応
- ◆ 盗難防止ロック対応

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- ■ 電源コード (AC100V 用) *
- ■ HDMI ケーブル
- ■ DisplayPort ケーブル
- ■ USB ケーブル (Type-A-B)
- ■ USB ケーブル (Type-C-C)
- ■ VESA プレート
- ■ スタンドネック
- ■ スタンドベース (ネジ付き)
- ■ ドライバー（L 型)
- ■ セーフティ & クイックスタートガイド / 保証書

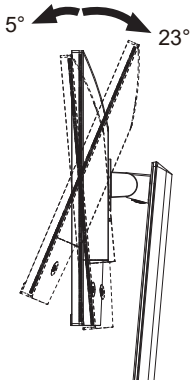
補足 * 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。
また、次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

- ■ 付属以外の電源コードをお使いになる場合
- ■ 日本以外の国でお使いになる場合
  サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

アーム / スタンドの使用

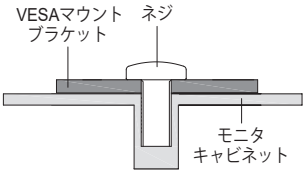
注意

- 本製品は、デスクトップでの使用を目的として設計されており、天吊りやウォールマウント (壁掛け) 等によるデジタルサイネージ (電子看板) 用途には対応しておりません。
- 取り付けの前に、ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドが、モニタを取り付けるのに十分な強度があることを確認してください。
- モニタの角度調節範囲を上方向 23°、下方向 5°の範囲内でご使用ください。この範囲を超えて、上向きや下向きにして使用することはできません。
- モニタを下方向へ 5°を超える角度に傾けて使用 (設置) すると、液晶パネルが剥がれて落下し、損傷するおそれがあります。また、このような場合はサポート及び保証の対象外となります。
- 定期的にネジの締め付けを確認してください。締め付けが不十分な場合、モニタが外れ、けがや故障の原因になります。



< ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドを使用する場合 >

ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドをご使用になる場合は、VESA マウントブラケットの厚さを考慮の上、M4 × 10mm のネジ 4 本を使ってモニタに固定し、すべてのネジがしっかりと締められていることを確認してください。これより長いネジを使用するとモニタ内部の電気部品に接触し、感電または故障の原因となることがあります。
本製品では、VESA マウントブラケットの厚さは約 2.5mm を想定しています。



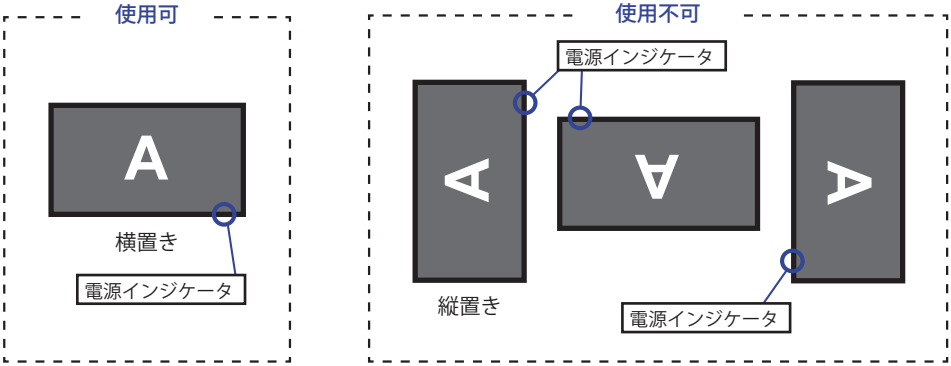
日本語

< 画面の回転 >

■ このモデルでは利用できません。

注意 本製品の昇降スタンドには、モニタ設置時に画面の傾きを調節できるように回転機能が付いています。
ただし、本製品はあくまでも横置きでの使用を前提として設計しておりますので、本回転機能を利用して、画面を縦置きや逆さまの状態では使用しないようにしてください。
（画面を縦置きや逆さまの状態で使用された場合は、保証の対象外となります。）
またモニタの画面位置（角度、傾き、高さ等）を調節する際は、安全のために両手で調節するようにしてください。

本製品は、横置きで使用するように設計されています。



日本語

スタンドの取り付け / 取り外し

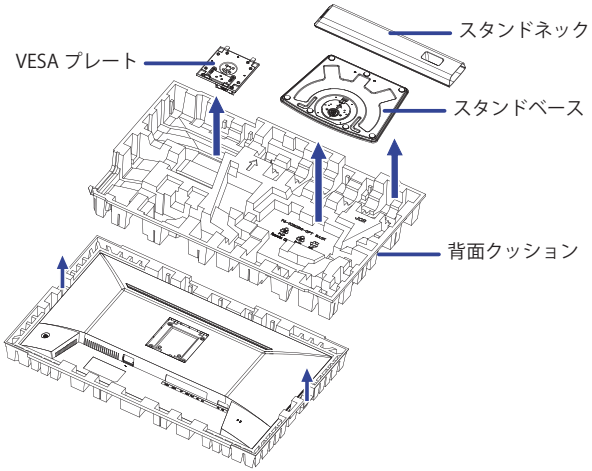
注意

- スタンドの取り扱いは安定した台の上でおこなってください。モニタが転倒・落下してけがや故障の原因となります。
- モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- スタンドの取り付けや取り外しをおこなう場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電や故障の原因となります。
- 定期的にネジの締め付けを確認してください。締め付けが不十分な場合、モニタが外れ、けがや故障の原因になります。

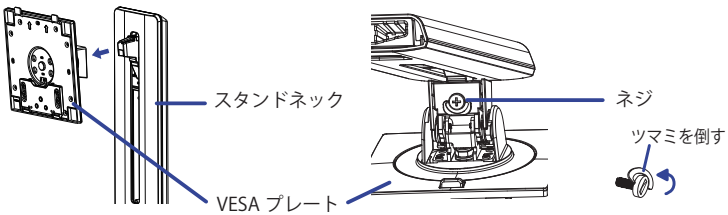
< 取り付け >

① 箱からクッションごとすべて取り出し、平らで安定した台の上にモニタの画面が下になるようにして置きます。

② 背面クッションから、VESA プレート、スタンドネック、スタンドベースを取り出します。

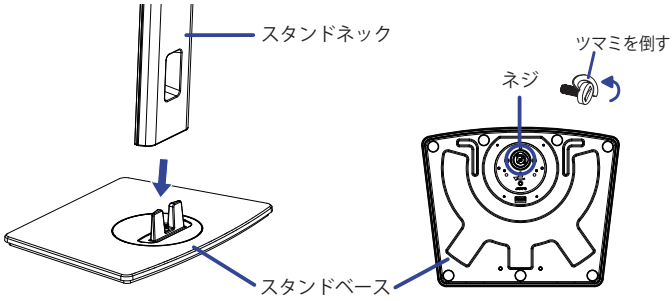


③ スタンドネックを VESA プレートに取り付け、付属のドライバーを使ってネジを締めてから、ネジのツマミを倒します。

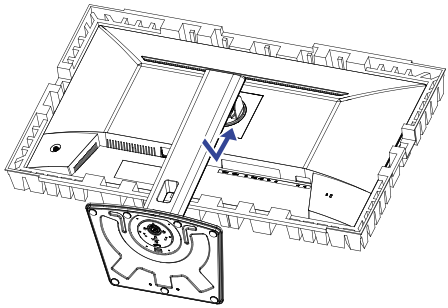


日本語

④ スタンドネックをスタンドベースに差し込み、スタンドベース底面のネジを締めて固定し、ネジのツマミを倒します。

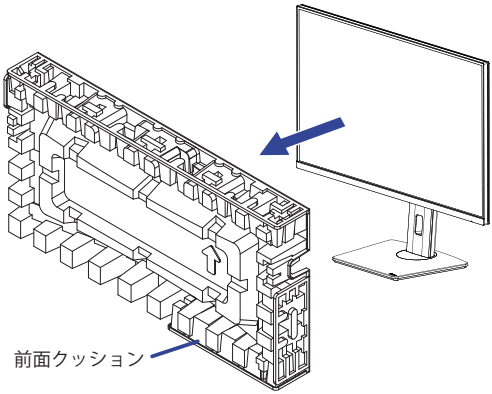


⑤ 組み立てたスタンドを、モニタの背面に取り付けます。



日本語

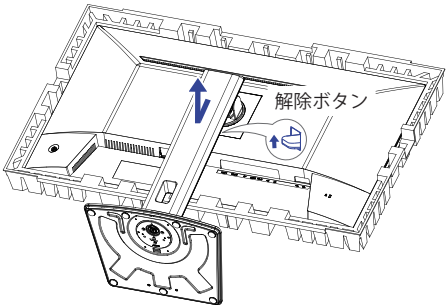
⑥ モニタを起こしてから、前面クッションを外します。



< 取り外し >

① 平らで安定した台の上に前面クッションを置き、モニタの画面を下にしてセットします。

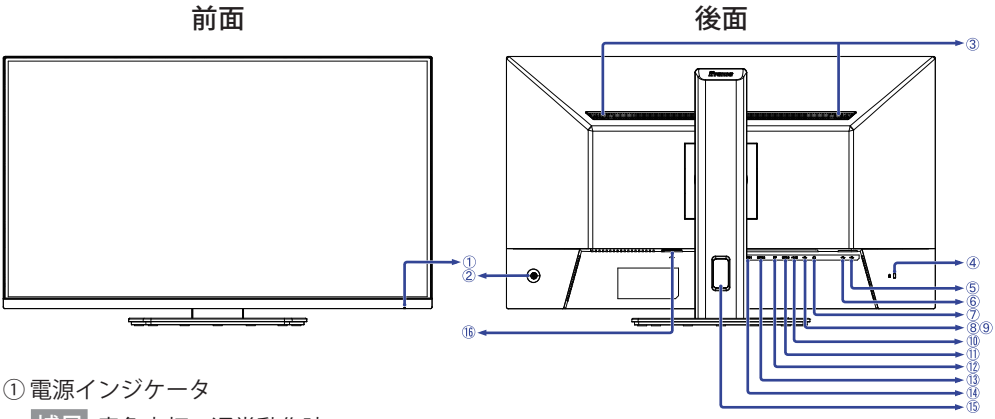
② 解除ボタンを図のような方向へ押しながら、スタンドを取り外します。



③ 付属のドライバーを使って VESA プレートのネジを緩め、スタンドネックを取り外します。

④ スタンドベース底面のネジを緩めて、スタンドベースからスタンドネックを取り外します。

各部のなまえ



① 電源インジケータ

補足 青色点灯：通常動作時
橙色点灯：スタンバイモード

② ジョイスティック／電源ボタン (⏻) *1
[中央] 電源／メニュー
[⇧] 上／入力選択 ダイレクト
[⇩] 下
*2 [⇨] 右／音量 ダイレクト
*2 [⇦] 左／ ECO ／ i-Style Color ／ Blue Light Reducer ショートカット

③ スピーカー

④ 盗難防止ロック用ホール (🔒)

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

⑤ USB Type-C DOWN コネクタ (USB3.2 Gen 1: 5Gbps, 5V, 1.5A)

⑥ USB Type-C DOWN コネクタ (USB3.2 Gen 1: 5Gbps, 5V, 1.5A)

⑦ ヘッドホンコネクタ (🎧)

補足 ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしておりません。

⑧⑨ USB Type-A DOWN コネクタ (USB3.2 Gen 1: 5Gbps, 5V, 900mA)

⑩ USB Type-B UP コネクタ ( )

⑪ USB Type-C UP コネクタ (USB C)
USB3.2 Gen 1: 5Gbps, 5V/3A, 9V/3A, 10V/3A,12V/3A,15V/3A, 20V/4.75A

⑫ DisplayPort コネクタ (DP)

⑬ HDMI コネクタ (HDMI 2)

⑭ HDMI コネクタ (HDMI 1)

⑮ ケーブルホール

⑯ 電源コード接続コネクタ (～ : 交流)

*1 長押しすると、電源がオフになります。
*2 モニタ画面を正面から見たときの方向を表しています。

コンピュータとの接続

警告

■ 安全のため、必ずアースリード (黄 / 黄緑) を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。順番を間違えると、感電の原因となります。
■ アースリードをコンセントに挿入,接触させないでください。火災や感電の原因となります。

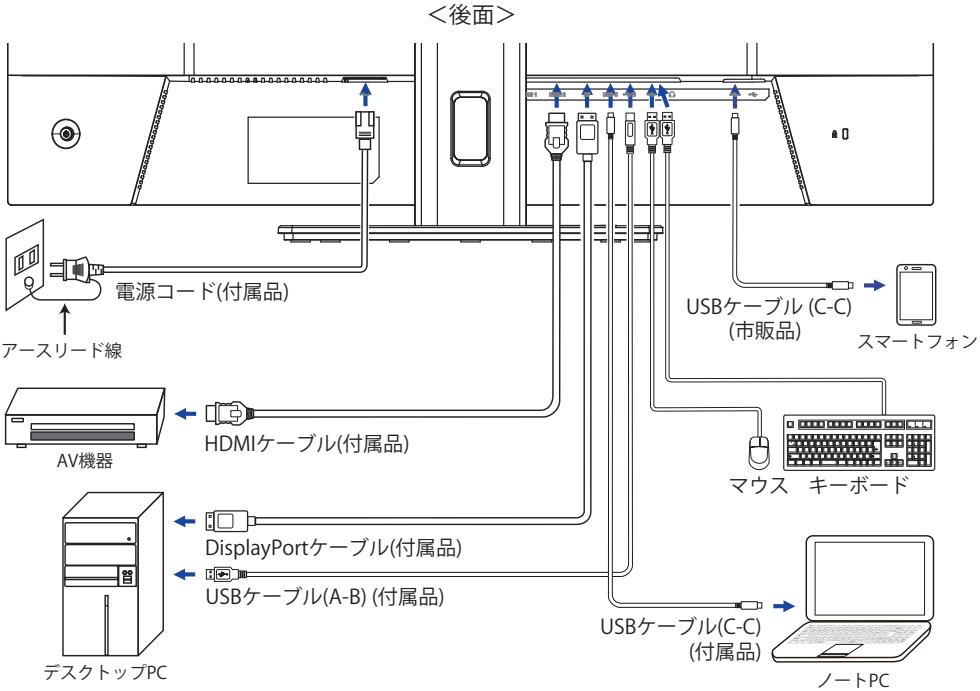
注意

■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。
■ 周辺機器への取り付けや取り外しをおこなう場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電や故障の原因となることがあります。
■ 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。
■ USB Type-C ケーブルの抜き差しは、プラグをコネクタに対してまっすぐに差し込み、まっすぐに引き抜くようにしてください。プラグを斜めに抜き差しすると、コネクタ内部のピンが損傷するおそれがあります。

① モニタおよびコンピュータの電源が「オフ」であることを確認します。
② DisplayPort ケーブルを、モニタとコンピュータに接続します。
③ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は、HDMI ケーブルをモニタと AV 機器に接続します。
④ USB 機能を使用する場合は、USB ケーブル (Type-A-B) をモニタとコンピュータに接続します。
外付けの大容量 HDD を使用する場合は外部電源が必要です。必ず電源に接続してください。
⑤ USB Type-C UP コネクタ (USB C) 経由でモニタに画像を映したり、モニタの USB ハブ機能を使用する場合は、USB ケーブル (Type-C-C) を、モニタとコンピュータに接続します。*
外付けの大容量 HDD を使用する場合は外部電源が必要です。必ず電源に接続してください。
⑥ 電源コードをモニタの電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。
この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。
⑦ モニタおよびコンピュータの電源を「オン」にします。

* ・ 接続機器を USB Type-C UP コネクタ (USB C) 経由で充電する場合は、接続機器に、USB PD (Power Delivery) に対応した USB Type-C コネクタが装備されていることを確認してください。。
・ モニタがスタンバイモードでも、接続機器を充電することができます。USB バッテリーチャージ機能については、P.24「USB チャージ」を参照してください。
・ USB 供給電力は、最大 95W です。接続機器の動作時または起動時に 95W を超える電力が必要な場合は、その機器に付属している電源アダプタを使用してください。
・ 付属品以外の USB ケーブル (Type-C-C) をご使用になる場合は、USB-IF 認証品であり、電力供給と映像 / 音声 / データ転送機能すべてが備わっていることを確認してください。
・ モニタがスタンバイモードのとき、下記の場面で画像が自動的に表示されないことがあります。
1. コンピュータの最初の起動時
2. コンピュータがスタンバイモードから復帰するとき
これは、スタンバイモード時の消費電力を最小限に抑えるための正常な動作です。
ジョイスティック [中央] を押すと画像が表示されます。
この動作を回避するには、OSD メニューの「USB チャージ」機能をオンにしてください。
・ USB ケーブル (Type-A-C) をご使用になる場合は、データ転送のみ可能です。また、USB ケーブル (Type-A-C) は本製品には含まれておりません。
・ ユーザー環境が異なるため、すべての接続機器との互換性が保証されるわけではありません。

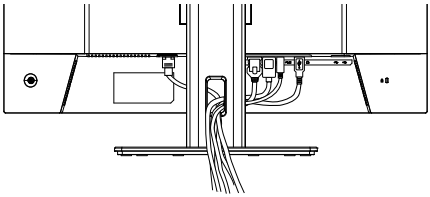
[接続例]



日本語

[ケーブルをまとめる]

ケーブル類をケーブルホールに通して、図のようにまとめます。



コンピュータとの接続解除

① モニタおよびコンピュータの電源が「オフ」であることを確認します。
② 電源コードをコンセントから取り外し、次にモニタから取り外します。
③ USB ケーブルをコンピュータとモニタから取り外します。
④ 信号ケーブルをコンピュータとモニタから取り外します。

コンピュータの設定

■ 信号タイミング
本製品がサポートしているお好みの解像度（P.36「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

モニタの高さ / 角度調節

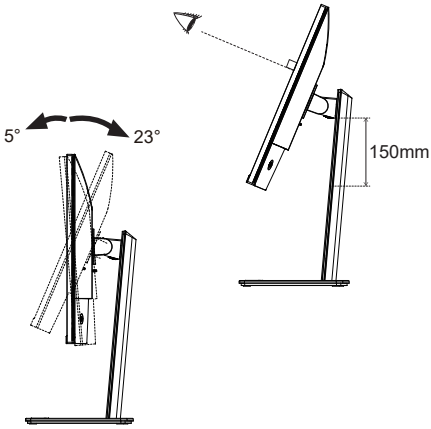
注意

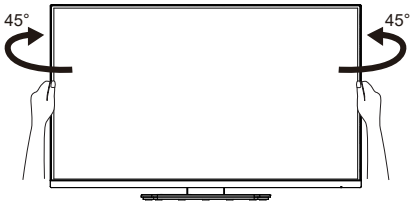
■ **角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。**
■ **角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。**
■ **高さ調節の際、モニタ下部とスタンドベースの間に手を入れているときに、モニタを勢いよく下げないでください。ケガの原因となることがあります。**

■ 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。高さや傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。

■ 高さ調節や角度調節の際は、モニタの左右を持っておこなってください。

■ 高さ調節範囲は 150mm、角度調節範囲は左右各 45°、上方向 23°、下方向 5° です。

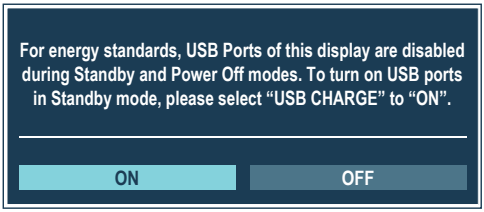


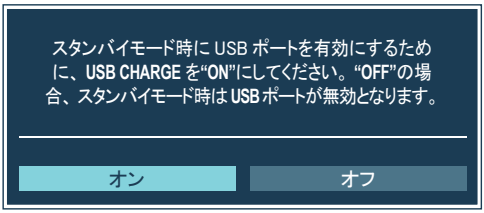


日本語

操作手順

初回ご使用時（またはリセット後）、以下のようなメッセージが表示されます。
ジョイスティック [⇦ / ⇨] で「ON」または「OFF」を選択し、ジョイスティック [**中央**] を押してください。





ON ➡ モニタがスタンバイモードになっても、接続されている USB 機器を充電 / 動作させることができます。

OFF ➡ モニタがスタンバイモードになったとき、接続されている USB 機器を充電 / 動作させずに待機電力を削減できます。

日本語

補足 本機能については、P.24「USB チャージ」も併せて参照してください。

P.36 の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作をおこなってください。
オンスクリーン表示 (OSD) の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

① **ジョイスティック [中央] を押すと、画面にメインメニューが表示されます。**

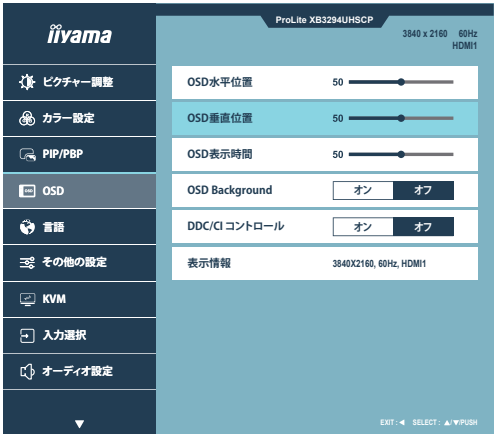
② **ジョイスティックを左右 [⇦ / ⇨] に傾けて、調整または設定したいメニューのアイコンを選択し、ジョイスティックを押します。**

③ **サブメニューが表示されたら、ジョイスティックを上下 [⇧ / ⇩] に傾けて希望のメニューを選択し、再びジョイスティックを押します。**

④ **ジョイスティックを左右 [⇦ / ⇨] に傾けて調整や設定をおこなっていきます。**

⑤ **終了するときは、ジョイスティックを押してから、左 [⇦] に傾けて終了します。オンスクリーン表示が消えると、調整や設定の内容が自動的に記憶されます。**

例えばオンスクリーン表示の垂直位置を調整したいときは、まずメインメニューから **OSD** を選択し、ジョイスティックを押します。次にジョイスティックを上下 [⇧ / ⇩] に傾けて、サブメニューから **OSD 垂直位置**を選択し、ジョイスティックを押します。
ジョイスティックを左右 [⇦ / ⇨] に傾けてお好みの位置に調整します。



最後にジョイスティックを押してから左 [⇦] に傾けて終了すると、調整内容が記憶されます。

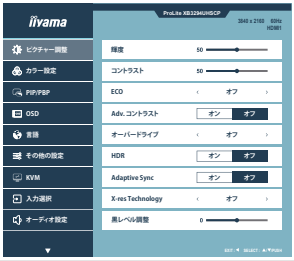
補足
- 調整中にジョイスティックの操作を中止すると、**OSD 表示時間**の設定時間後にオンスクリーン表示が消えます。また、ジョイスティックを左 [⇦] に傾けるたびに前のメニュー画面に戻り、最後にオンスクリーン表示を消すことができます。
- オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「オフ」にしないでください。

日本語

メニュー内容

言語 (Language) で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

ピクチャー調整
Picture Adjust



サブメニュー	画面の状態 / オプション		ジョイスティック
輝度 *1,2 Brightness	暗すぎる 明るすぎる		
コントラスト *1 Contrast	弱すぎる 強すぎる		
ECO *1 ECO ショートカット	オフ	標準	
	モード 1	バックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。	
	モード 2	モード 1 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。	
	モード 3	モード 2 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。	
Adv. コントラスト *1 Adv. Contrast	オン	コントラスト比を改善します。	
	オフ	標準	
補足 画像に応じて輝度を調整し、動画再生時のコントラスト比を向上させます。			
オーバードライブ *1,3 Overdrive	オフ / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 応答速度を改善します。 レベルが上がると応答速度が速くなります。		
HDR *1 HDR	オン	HDR (High Dynamic Range) 信号に対応します。	
	オフ	通常の信号に対応します。	
Adaptive Sync *1 Adaptive Sync	オン	Adaptive Sync 機能をオンにします。	
	オフ	Adaptive Sync 機能をオフにします。	
X-res Technology X-Res Technology	オフ	標準	
	ソフト	映像の輪郭を強調します。	
	ミドル	ソフトより映像の輪郭を更に強調します。	
	ハード	ミドルより映像の輪郭を更に強調します。	
黒レベル調整 *1 Black Tuner	-5 ～ +5 （暗い→明るい）まで設定されています。 画面の暗い箇所の色合いを調整することができます。		

日本語

*1 有効になっている他のメニューが作用し、調整や設定ができない場合があります。詳細は、P.30 **メニュー対応表**をご覧ください。

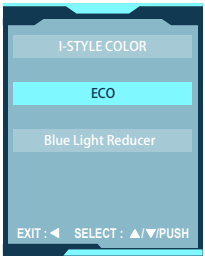
*2 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。

*3 オーバードライブを有効にすると、ある程度の残像が発生します。

ショートカット

以下の操作で特定のメニューへのショートカットができます。

メニュー画面を表示していないときにジョイスティックを左 [⇦] に傾けてから、上下 [⇧ / ⇩] 操作で目的のメニューを選択します。



カラー設定
Color Settings

サブメニュー	画面の状態 / オプション		ジョイスティック
6- カラー * 6-Axis	彩度	赤	弱すぎる 強すぎる
		黄	
		緑	
		シアン	
		青	
		マゼンタ	
	色あい	赤	弱すぎる 強すぎる
		黄	
		緑	
		シアン	
		青	
		マゼンタ	
i-Style Color * i-Style Color ショートカット	オフ	i-Style Color 以外のカラー調整で設定された状態に戻ります。	
	標準	標準	
	ゲーム	ゲームをするときなどに最適です。	
	映画	映画を鑑賞するときなどに最適です。	
	風景	屋外の風景を表示するときに最適です。	
	テキスト	文章を作成するときなどに最適です。	
Blue Light Reducer Blue Light Reducer ショートカット	オフ	標準	
	モード 1	ブルーライトを軽減します。	
	モード 2	ブルーライトをモード 1 より軽減します。	
	モード 3	ブルーライトをモード 2 より軽減します。	
ガンマ * Gamma	1.8	ハイコントラスト	
	2.2	標準	
	2.6	ダーク	
RGB レンジ RGB Range	自動	カラースケール信号を自動的に選択します。	
	フル	フルレンジカラースケール信号用	
	リミテッド	制限されたカラースケール信号用	

カラー設定

サブメニュー	画面の状態 / オプション		ジョイスティック
色温度 * Color Temp.	9300K	寒色	
	7500K	標準	
	6500K	暖色	
	sRGB	sRGB ベースの色	
	ユーザープリセット	赤	弱すぎる 強すぎる
		緑	
		青	

* 有効になっている他のメニューが作用し、調整や設定ができない場合があります。詳細は、P.30 **メニュー対応表**をご覧ください。

ショートカット

以下の操作で特定のメニューへのショートカットができます。

メニュー画面を表示していないときにジョイスティックを左 [⇦] に傾けてから、上下 [⇧ / ⇩] 操作で目的のメニューを選択します。

日本語

PIP/PBP *1
PIP/PBP

サブメニュー	オプション	
PIP/PBP PIP/PBP	オフ	PIP/PBP モードをオフにします。
	PiP	メイン画面の中にサブ画面を表示します。
	PbP LR	メイン画面を左側、サブ画面を右側に表示します。
Sub Source *2 Sub Source	HDMI1	サブ画面の映像入力を HDMI 1 に切り替えます。
	HDMI2	サブ画面の映像入力を HDMI 2 に切り替えます。
	DisplayPort	サブ画面の映像入力を DisplayPort に切り替えます。
	USB C	サブ画面の映像入力を USB Type-C に切り替えます。
PiP Position *3 PIP Position	Top-Right	サブ画面を右上へ移動します。
	Bottom-Right	サブ画面を右下へ移動します。
	Bottom-Left	サブ画面を左下へ移動します。
	Top-Left	サブ画面を左上へ移動します。
PiP Size *3 PIP Size	Small	サブ画面のサイズを小さくします。
	Middle	標準サイズのサブ画面
	Large	サブ画面のサイズを大きくします。
Swap *2 Swap	いいえ	メニューに戻ります。
	はい	メイン画面とサブ画面を即座に入れ替えます。

*1 PIP = ピクチャー・イン・ピクチャー　　PBP = ピクチャー・バイ・ピクチャー

*2 PiP または PbP LR を選択したときに有効です。

*3 PiP を選択したときのみ有効です。

OSD
OSD

サブメニュー	画面の状態 / オプション		ジョイスティック
OSD 水平位置 OSD Horizontal Position	OSD が左に寄っている OSD が右に寄っている		
OSD 垂直位置 OSD Vertical Position	OSD が下に寄っている OSD が上に寄っている		
OSD 表示時間 OSD Time	5 ～ 60 秒までの間で OSD のオフタイマーを設定します。		
OSD Background OSD Background	オン	OSD の背景を透過させます。	
	オフ	標準	
DDC/CI コントロール DDC/CI Control	オン	DDC/CI コントロール機能を有効にします。	
	オフ	DDC/CI コントロール機能を無効にします。	
表示情報 Display Information	コンピュータのグラフィックカードから入ってくる現在の入力信号関連の情報を表示します。		

補足 解像度とリフレッシュ速度の変更に関する詳細については、グラフィックカードのユーザーガイドをご覧ください。

言語
Language

オプション			
ENGLISH	英語表示	Español	スペイン語表示
FRANÇAIS	フランス語表示	NEDERLANDS	オランダ語表示
DEUTSCH	ドイツ語表示	Česky	チェコ語表示
ITALIANO	イタリア語表示	Русский	ロシア語表示
POLSKI	ポーランド語表示	Українська	ウクライナ語表示
		日本語	日本語表示

その他の設定
Miscellaneous

サブメニュー	オプション	ジョイスティック
シャープネス Sharpness	1 2 3 4 5 6 1 ～ 6（シャープ→ソフト）まで設定されています。 右 [⇨] に傾けると昇順に移動し、左 [⇦] に傾けると降順に移動します。	
画面モード *1 Video Mode Adjust	フルスクリーン	全画面表示
	アスペクト	アスペクト比に拡大表示
	ドットバイドット *2	ドットバイドット表示
	17inch	17 インチの画面として表示 (5 : 4)
	19inch	19 インチの画面として表示 (5 : 4)
	19.5inch	19.5 インチの画面として表示 (16 : 9)
	21.5inch	21.5 インチの画面として表示 (16 : 9)
	23inch	23 インチの画面として表示 (16 : 9)
	23.6inch	23.6 インチの画面として表示 (16 : 9)
	23.8inch	23.8 インチの画面として表示 (16 : 9)
	24inch	24 インチの画面として表示 (16 : 9)
	24.5inch	24.5 インチの画面として表示 (16 : 9)
	27inch	27 インチの画面として表示 (16 : 9)
オープニングロゴ Opening Logo	オン	電源を入れたときに iiyama ロゴを表示します。
	オフ	電源を入れたときに iiyama ロゴを表示しません。
電源 LED Power LED	オン	電源インジケータを点灯します。
	オフ	電源インジケータを消灯します。

補足 電源インジケータの光が気になる場合にご使用ください。

USB チャージ USB Charge	オン	モニタの通常動作時、スタンバイモード時のどちらでも、USB 機器を充電できます。
	オフ	モニタの通常動作時、スタンバイモード時のどちらでも、USB 機器を充電できません。 コンピュータがモニタの USB UP コネクタに接続されている場合は、モニタの通常動作時に USB 機器を充電できますが、スタンバイモード時には充電できません。また、コンピュータがモニタの USB UP コネクタに接続されていない場合は、モニタが通常動作時でも USB 機器を充電できません。

補足 モニタの電源をオフにすると、本機能をオンにしていても USB 機器は充電できません。本機能がオフのときは、待機電力を削減するためにモニタがスタンバイモードになっていても、USB 機器は動作しません。USB 機器を動作させる場合は、本機能をオンにしてください。

日本語

その他の設定

サブメニュー	オプション	
USB C スピード USB C Speed	USB 2.0	USB Type-C 経由で接続する場合のデータ転送速度を選択します。
	USB 3.0	

*1 入力信号の解像度が 4:3、5:4 または 16:10 のとき、画面中央に 4:3、5:4 または 16:10 のアスペクト比で表示できます。

*2 有効になっている他のメニューが作用し、調整や設定ができない場合があります。詳細は、P.30 **メニュー対応表**をご覧ください。

KVM
KVM

サブメニュー	オプション	
HDMI1 HDMI1	USB B	１台のモニタに２台のコンピュータを接続している場合、モニタに接続されているキーボードやマウスなどの USB 機器を２台のコンピュータ間で切り替えて使うことができます。 USB B： コンピュータからの入力信号を USB Type-B UP コネクタに接続します。 USB C： コンピュータからの入力信号を USB Type-C UP コネクタに接続します。
	USB C	
HDMI2 HDMI2	USB B	
	USB C	
DisplayPort DisplayPort	USB B	
	USB C	
USB C USB C	USB B	
	USB C	

日本語

入力選択
Input Select

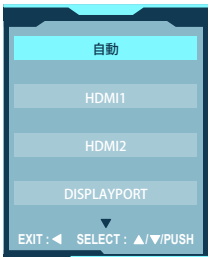
ダイレクト

サブメニュー	オプション		
入力選択 Input Select	自動	映像入力を検出し、自動的に切り替えます。	
	手動	HDMI1	映像入力を HDMI 1 入力に切り替えます。
		HDMI2	映像入力を HDMI 2 入力に切り替えます。
		DisplayPort	映像入力を DisplayPort 入力に切り替えます。
		USB C	映像入力を USB Type-C 入力に切り替えます。

補足 “自動” に設定すると、モニタが検出した入力信号の中から自動的に入力を選択します。スリープ状態またはシャットダウンされたコンピュータからの信号は検出されません。“手動” に設定すると入力は選択した信号に固定され、自動的に切り替わることはありません。

ダイレクト 入力選択

メニュー画面を表示していないときにジョイスティックを上 [⇧] に傾けると、入力選択画面がダイレクト表示されます。



補足 初回ご使用時 (またはリセット後)、複数の入力信号が検出されている状態で、このダイレクトメニューから選択した入力信号が途切れると、自動的に他の入力信号に切り替わります。入力信号を固定したい場合は、**メインメニュー** → **入力選択** → **手動** で設定をおこなってください。

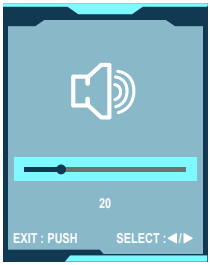
オーディオ設定
Audio Settings

サブメニュー	画面の状態 / オプション		ジョイスティック
音量 Volume ダイレクト	音量が小さい 音量が大きい		
ミュート Mute Audio	オン	一時的に音を消します。	
	オフ	元の音量に戻します。	
オーディオ入力 * Audio Input	HDMI1	オーディオ入力を HDMI1 に切り替えます。	
	HDMI2	オーディオ入力を HDMI2 に切り替えます。	
	DP	オーディオ入力を DisplayPort に切り替えます。	
	USB C	オーディオ入力を USB Type-C に切り替えます。	

* PiP または PbP LR を選択したときに有効です。

ダイレクト 音量

メニュー画面を表示していないときにジョイスティックを右 [⇨] に傾けると、音量調整画面がダイレクト表示されます。



日本語

リセット
Recall

サブメニュー	オプション	
すべてをリセットしますか？ Recall All?	セレクト	工場出荷状態に戻します。

■ ロック機能

< OSD メニュー >

不用意な設定変更などを防ぐため、OSD メニューを表示をさせないようにします。

メニュー画面を表示していないときにジョイスティックを下 [⇩] に 10 秒傾けて、ロックとロック解除をおこないます。

< 電源ボタン機能 >

不用意な電源操作を防ぐため、電源ボタン機能を無効にします。

メニュー画面を表示していないときにジョイスティックを上 [⇧] に 10 秒傾けて、ロックとロック解除をおこないます。

■ メニュー対応表

選択メニュー ＼ 有効になっているメニュー			ピクチャー調整								カラー設定				その他の設定
			輝度	コントラスト	ECO	Adv. コントラスト	オーバードライブ	HDR	Adaptive Sync	Black Tuner	6- カラー	i-Style Color	ガンマ	色温度	画面モード ドットバイドット
ピクチャー調整	ECO		×	○		×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	Adv. コントラスト		×	×	×		○	×	×	○	○	×	○	×	○
	HDR		○	○	×	×	×		×	×	×	○	○	○	○
	Adaptive Sync		○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	×
カラー設定	i-Style Color		×	×	×	×	○	○	○	×	×		×	○	○
	Blue Light Reducer		○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○
	色温度		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○
その他の設定	画面モード	ドットバイドット	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	

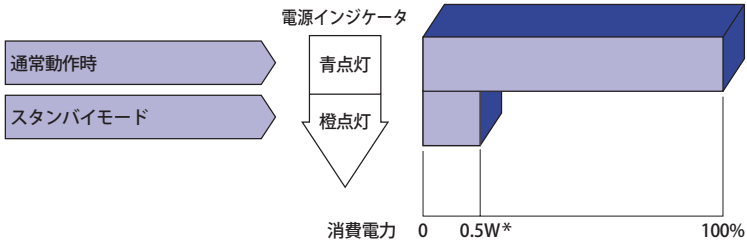
○ : 調整 / 設定 可　　× : 調整 / 設定 不可

スタンバイ機能

本製品のスタンバイ機能は、一定時間コンピュータを使用しないときに、モニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能は次のモードを備えており、モードの時間設定等はコンピュータ側でおこないます。

■ スタンバイモード

コンピュータからのビデオ信号がオフ状態になるとスタンバイモード（消費電力 0.5W* 以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



* USB 機器未接続時

日本語

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1.「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は 2 へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

症状	チェックポイント
① 映像が出ない (電源インジケータ点灯せず)	□ 電源コードが確実に接続されていますか？ □ 電源が「オン」になっていますか？ □ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
(電源インジケータ青色)	□ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？ □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
(電源インジケータ橙色)	□ スタンバイモードになっていませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
② 画面が乱れている	□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
③ 画面の位置が片寄っている	□ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
④ 画面が明るすぎる／暗すぎる	□ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑤ 画面が揺れる	□ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。 □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
⑥ 音が出ない	□ オーディオ機器 (コンピュータ等) の電源は入っていますか？ □ 音量が最小になっていませんか？ □ ミュート (消音) になっていませんか？ □ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑦ 音が大きい／小さい	□ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

クリーニング

警告

■万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

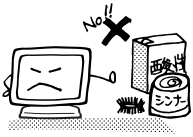
■安全のため、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

注意

■モニタにアルコールや消毒薬等を直接吹き付けたり、モニタの近くで使用しないでください。また、アルコールや消毒薬等を含んだ布やシート等でモニタを拭かないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

■モニタ (液晶パネル / キャビネット / コネクタ端子) や付属品を傷めないために、次の溶剤やクリーニングシート等は使用しないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤、過酸化物、アセトン、塩化メチレン、トルエン、アンモニア、次亜塩素酸ナトリウム水溶液 (塩素系漂白剤)、次亜塩素酸水、酸性 / アルカリ性の溶剤、ワックス、研磨剤、OA クリーナー、ガラスクリーナー、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、化学ぞうきん、クリーニングペーパー等



補足

■液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■液晶パネルに水滴等をつけたまま放置しないでください。水滴等がついた場合はすぐに乾いた柔らかい布で拭きとってください。放置すると液晶パネルの変色や染みの原因になります。また、水分が内部に入ると故障の原因になります。

■キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

●通常のお手入れ

柔らかい清潔な布でやさしく乾拭きしてください。
汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に浸してから固く絞った布で汚れを拭きとり、素早く乾いた柔らかい布で拭いてください。

●アルコール消毒について

アルコール消毒は、キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。ご使用の前後に、モニタから離れた場所で手指消毒をするなどしてご対応ください。

やむを得ずモニタをアルコール消毒する場合は、上記の警告・注意事項について、あらかじめご了承ください。また、頻繁なアルコール消毒は避けてください。

アフターサービス

保証書 / 保証期間について

■ 本製品の保証書は、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに記載されています。

■ 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証期限はお買い上げ日より 3 年間です。
尚、本製品を「ディスプレイ延長保証のお申込み」サイトからご登録頂くことで、保証期間を 5 年かつ製品使用時間 30,000 時間以内に延長いたします。
詳しくはサポートサイト：https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx をご覧下さい。
ただし、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、付属のセーフティ & クイックスタートガイドの＜保証条件＞をご確認ください。

修理サービス

■「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターへご連絡ください。

■ 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず iiyama サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後 5 年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に 5 年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の 5 年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターにご相談ください。

■ 修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

リサイクル / 廃棄について

■ 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。

■ 製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

■ 本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が業務委託しているリネットジャパンリサイクル株式会社にて無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製品を事業所でご使用の場合は、対象外となります。

■ リサイクル / 廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧いただくか、iiyama サポートセンターリサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル / 廃棄についてのお問い合わせ
iiyama サポートセンター リサイクル受付

TEL 03-6636-4312

このマークが表示されている弊社製品は、弊社が業務委託しているリネットジャパンリサイクル株式会社にて無償で回収・再資源化いたします。
詳細は弊社ホームページをご参照ください。
URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/brand/iiyama/

日本語

付録　仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

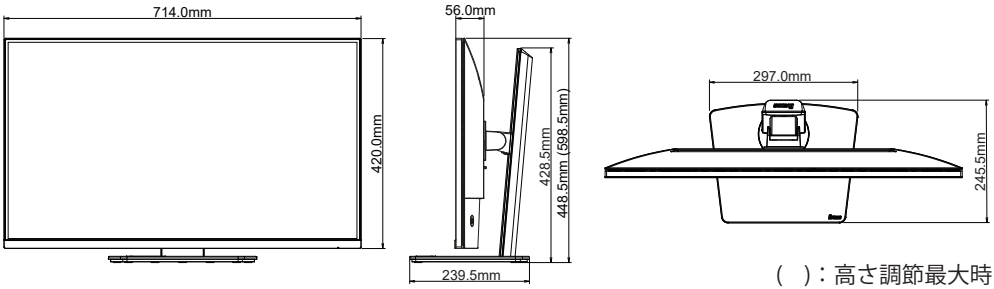
一般仕様：ProLite XB3294UHSCP-B1J

サイズカテゴリ		31.5 型
液晶パネル	パネル方式	VA
	サイズ	対角 80cm（31.5 型）
	画素ピッチ	水平 0.182mm × 垂直 0.182mm
	輝度	400cd/m^2（標準）
	コントラスト比	3000：1（標準），Adv. コントラスト機能有
	視野角	左右各 89°, 上下各 89°（標準）
	応答速度 *1	2ms (グレー←→グレー)
最大表示色		約 10.7 億色 (8bit 2FRC)
走査周波数		HDMI (Adaptive Sync オフ)：水平：30 ～ 160kHz　垂直：48 ～ 75Hz HDMI (Adaptive Sync オン)：水平：30 ～ 160kHz　垂直：48 ～ 75Hz DisplayPort (Adaptive Sync オフ)：水平：30 ～ 160kHz　垂直：48 ～ 75Hz DisplayPort (Adaptive Sync オン)：水平：30 ～ 160kHz　垂直：48 ～ 75Hz USB Type-C (Adaptive Sync オフ)：水平：30 ～ 160kHz　垂直：48 ～ 75Hz USB Type-C (Adaptive Sync オン)：水平：30 ～ 160kHz　垂直：48 ～ 75Hz
解像度		3840 × 2160（最大），8.3 MegaPixels
サポートされている最大解像度		3840 × 2160 60Hz 2560 × 1440 75Hz
信号入力コネクタ		HDMI × 2，DisplayPort × 1，USB Type-B × 1，USB Type-C × 1
入力映像信号		HDMI, DisplayPort, USB Type-C (Alt Mode)
USB 規格		USB3.2 Gen 1 (5Gbps), USB Power Delivery (95W)
USB 内蔵ポートコネクタ形状		2 Upstream：Type-B, Type-C 4 Downstream：Type-A (DC5V, 900mA) × 2, Type-C (DC5V, 1.5A) × 2
ヘッドホンコネクタ *2		ø 3.5mm ステレオミニジャック
スピーカー		5W × 2（アンプ付きステレオスピーカー）
最大表示範囲		水平：708.9mm　垂直：405.7mm
入力電源		AC100 ～ 240V 50/60Hz 2A
消費電力 *3		55W（標準） スタンバイモード：0.5W（最大），オフモード：0.3W（最大）
外形寸法		714.0 (幅) × 448.5 ～ 598.5 (高) × 245.5 (奥行)mm
重量		8.5kg
高さ調節範囲		150mm
角度調節範囲		チルト　上方向：23°下方向：5° スウィーベル　左右方向：各 45°
環境条件		動作時：　温度　5 ～ 35℃ 　　湿度　10 ～ 90%（結露なきこと） 保管時：　温度　－ 20 ～ 60℃ 　　湿度　10 ～ 90%（結露なきこと）
適合規格		TÜV, VCCI, PSE, 国際エネルギースタープログラム , グリーン購入法

補足
*1 **オーバードライブ**が「5」に設定されているとき
*2 ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしておりません。
*3 USB 機器未接続時

日本語

外形寸法図



(　)：高さ調節最大時

対応信号タイミング

ビデオモード	水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
640 × 480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
	37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz
800 × 600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz
	46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
1024 × 768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
	60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
1280 × 1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz
	79.976kHz	75.025Hz	135.000MHz
1920 × 1080	67.500kHz	60.000Hz	148.500MHz
	83.925kHz	75.000Hz	174.560MHz
2560 × 1440	88.860kHz	60.000Hz	241.700MHz
	111.900kHz	75.000Hz	304.370MHz
3840 × 2160	135.000kHz	60.000Hz	540.000MHz *

補足 * ビデオカードは、3440 × 2160, 60Hz の解像度をサポートしている必要があります。

Console	1080p (1920 × 1080)	1440p (2560 × 1440)	2160p (3840 × 2160)
PS5	60Hz	60Hz	60Hz
Xbox Series X/S	60Hz	60Hz	60Hz

お客様の個人情報の管理および利用について

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、適切に管理，利用いたします。

当社が定める「個人情報保護方針」は、下記 URL からご確認ください。

URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/privacy/privacy.aspx

株式会社マウスコンピューター

● 製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター

24 時間 365 日サポート対応
TEL　03-6636-4312
FAX　03-6636-4341

特定化学物質の含有情報は下記の弊社サイトに掲載しています。

URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support/jmos.aspx

サポートの最新情報 (連絡先等) は弊社サポートサイトに掲載しています。
お問い合わせの前に、サポートサイトにてご確認ください。

URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx